

## II 地域メッシュ統計結果分析

### 1. 人口

人口上位2位は共同住宅世帯割合が7割以上

平成17年で最も人口が多いメッシュ区域は、①「平松本町の県営平松本町付近」で2,689人となっている。共同住宅世帯数996も市内で最も多い。また共同住宅に住んでいる世帯が世帯総数の約79%となっている。

年齢別人口では、年少人口と20～40歳代が多い。

表1の世帯人員別世帯数の割合では、2人以上世帯が約6割を占めており、多人数世帯が多い。表2の家族類型別でも、親族世帯667のうち、核家族世帯が616とそのほとんどを占め、6歳未満の親族と20歳代の単身世帯が多い。

表3の住宅所有の関係別をみると、持ち家より公営や民間の借家に住む世帯が多い。

次に人口が多い区域は、②「JR宇都宮駅南側付近」で、やはり共同住宅に住んでいる世帯が多く、世帯総数の約72%となっている。この区域はこの区域は、生産年齢人口の男性、老年人口の女性が多い。

世帯人員別世帯数割合では、1人世帯が約5割を占め、病院・療養所、社会施設等の施設等世帯数も6.8%と高い。

家族類型別では、核家族世帯のうち65歳以上の親族がいる一般世帯数と、高齢単身世帯が多い。

住宅所有の関係別では、民営の借家と給与住宅で、住宅に住む一般世帯数の約64%を占めている。

また、表4の産業別就業者数では、第3次産業従事者が多いが、特に「情報通信産業」や「金融・保険業」「飲食店・宿泊業」に従事している人が多い。

3番目に多い区域は、③「御幸ヶ原町付近」だが、共同住宅に住んでいる世帯の世帯割合では、総数の約46%となっており、比較的一戸建ての多い地域である。

また、住宅の所有の関係別では、一般世帯1,022のうち持ち家が470で約46%と上位2位に比べれば高い。

年齢別では、年少人口と20～40歳代、60歳前後が多い。世帯人員別世帯割合では2人以上世帯が約6割で、多人数世帯が多い。

家族類型別では、核家族のなかでも、6歳未満と65歳以上の親族がいる一般世帯数が多い。

表 1

順位	世帯総数	1人世帯数	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	施設等
①	100	42.5	19.4	14.9	14.8	4.3	0.5	0.1	3.6
②	100	50.7	21.0	10.9	7.5	2.2	0.7	0.1	6.8
③	100	39.8	18.3	17.7	16.9	4.6	0.9	0.3	1.4

表 2

順位	親族世帯総数	核家族世帯数	その他の親族	6歳未満の親族がいる一般世帯数	65歳以上の親族がいる一般世帯数	世帯主の年齢が20～29歳の1人世帯数	高齢単身世帯数
①	667	616	51	168	108	211	19
②	564	486	78	88	257	196	72
③	652	581	71	172	141	185	27

表 3

順位	住宅に住む一般世帯	持ち家	公営・都市機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り
①	1211	172	259	598	179	3
②	1257	438	0	644	163	12
③	1022	470	0	420	124	8

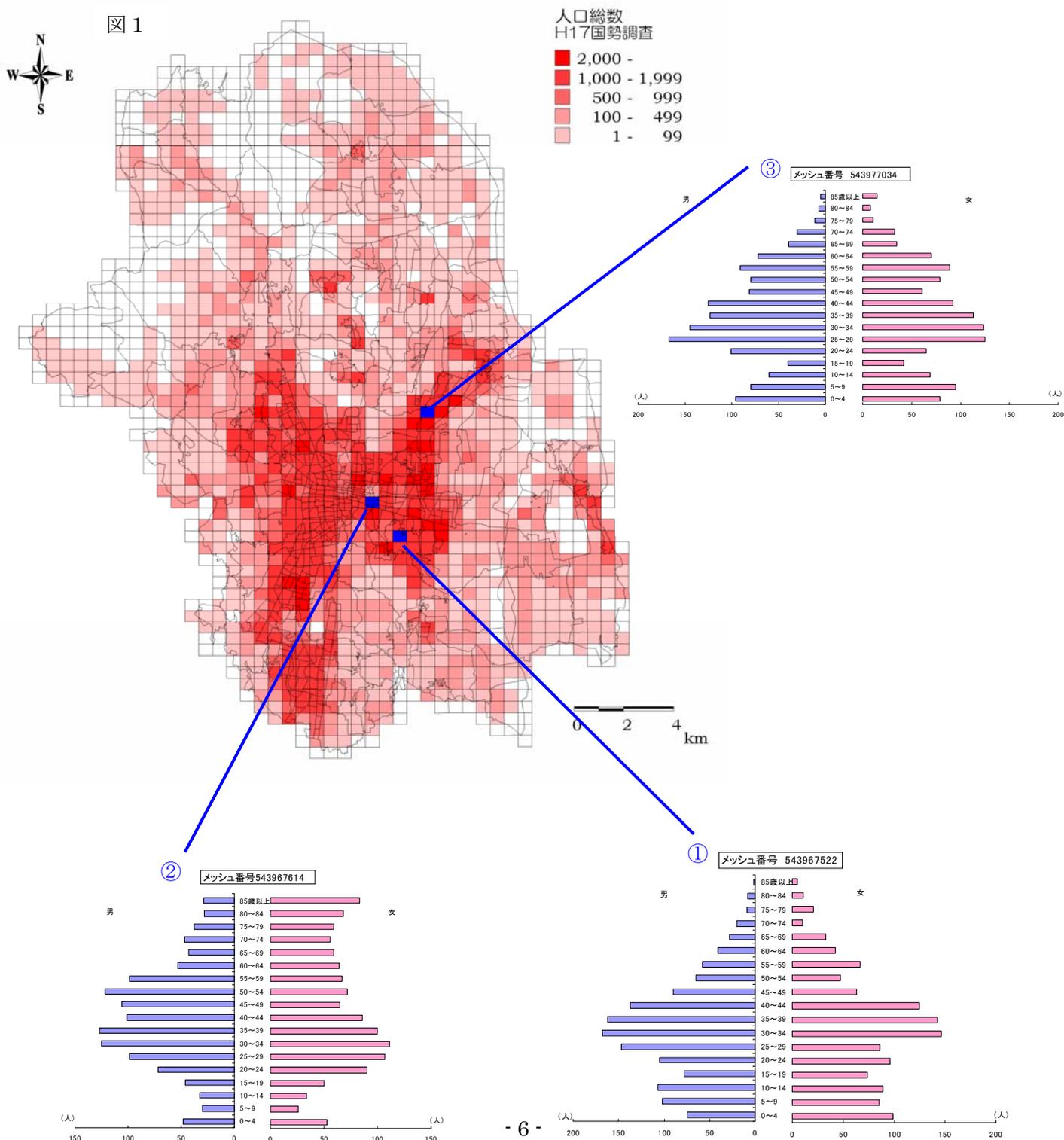
表 4

順位	就業者	第1次産業	第2次産業	うち製造業	第3次産業	うち情報通信業	うち卸売・小売業	うち金融・保険業	うち飲食店・宿泊業	サービス業(他に分類されないもの)
①	1244	x	358	288	873	30	268	28	85	259
②	1235	x	293	233	909	52	276	42	110	219
③	1185	7	347	261	805	17	206	13	46	307

表 5

平成17年の人口が最も多いメッシュ区画の上位3位							
順位	メッシュコード	区画のおおよその位置	人口		人口増加数	平成17年世帯数	
			H17	H7			うち共同住宅世帯数
①	543967522	県営平松本町住宅付近	2,689	2,274	415	1,259	996
②	543967614	JR宇都宮駅南側、築瀬小学校北東側、水戸街道JR高架下付近	2,613	2,189	424	1,354	971
③	543977034	御幸ヶ原町、栃木銀行御幸ヶ原町支店付近	2,576	494	1,123	516	

図 1



## 2. 人口増減

平成7年から17年にかけて、人口が最も増加した区域上位3位は、持ち家率が高く共同住宅と振興住宅地となっている。

最も増加した①「今泉町付近」は、平成7年から17年の10年間で955人増加した。世帯数では439世帯増加したが、特に共同住宅世帯が386世帯と大幅に増加した。上位2、3位に比べると、1人世帯割合が高く、高齢者が多い。

また、住宅の所有関係別では、持ち家率は低く、公営・都市機構・公社や民営の借家に住んでいる割合が高い。

上位2位の②「中岡本町」と3位の③「豊郷台2丁目」は、共同住宅は少ないが、世帯総数が急増しており、1人世帯は少なく、多人数世帯である。

100人以上増加した区画をみると、国道4号線、日光街道、宇都宮環状線沿い、清原台団地などの振興住宅地に多い。

表6

世帯人員別世帯数割合 (平成7～17年で人口が最も増加したメッシュ区画の上位3位)(%)									
順位	世帯総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	施設等
①	100	30.8	25.9	20.1	15.5	4.2	1.2	0.1	2.1
②	100	6.9	19.4	24.1	34.5	12.2	0.6	1.9	0.3
③	100	4.8	23.6	25.9	36.6	8.1	1.0	0.0	0.0

表7

家族類型別一般世帯数 (平成7～17年で人口が最も増加したメッシュ区画の上位3位)							
順位	親族世帯	核家族世帯	その他の親族	6歳未満の親族がいる一般世帯	65歳以上の親族がいる一般世帯	世帯主の年齢が20～29歳の1人世帯	高齢単身世帯
①	495	446	49	96	135	34	30
②	295	272	23	125	28	6	1
③	491	470	21	81	53	1	3

表8

住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯 (平成7～17年で人口が最も増加したメッシュ区画の上位3位)						
順位	住宅に住む一般世帯	持ち家	公営・都市機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り
①	730	510	0	155	61	4
②	317	255	0	41	15	6
③	517	496	0	4	16	1

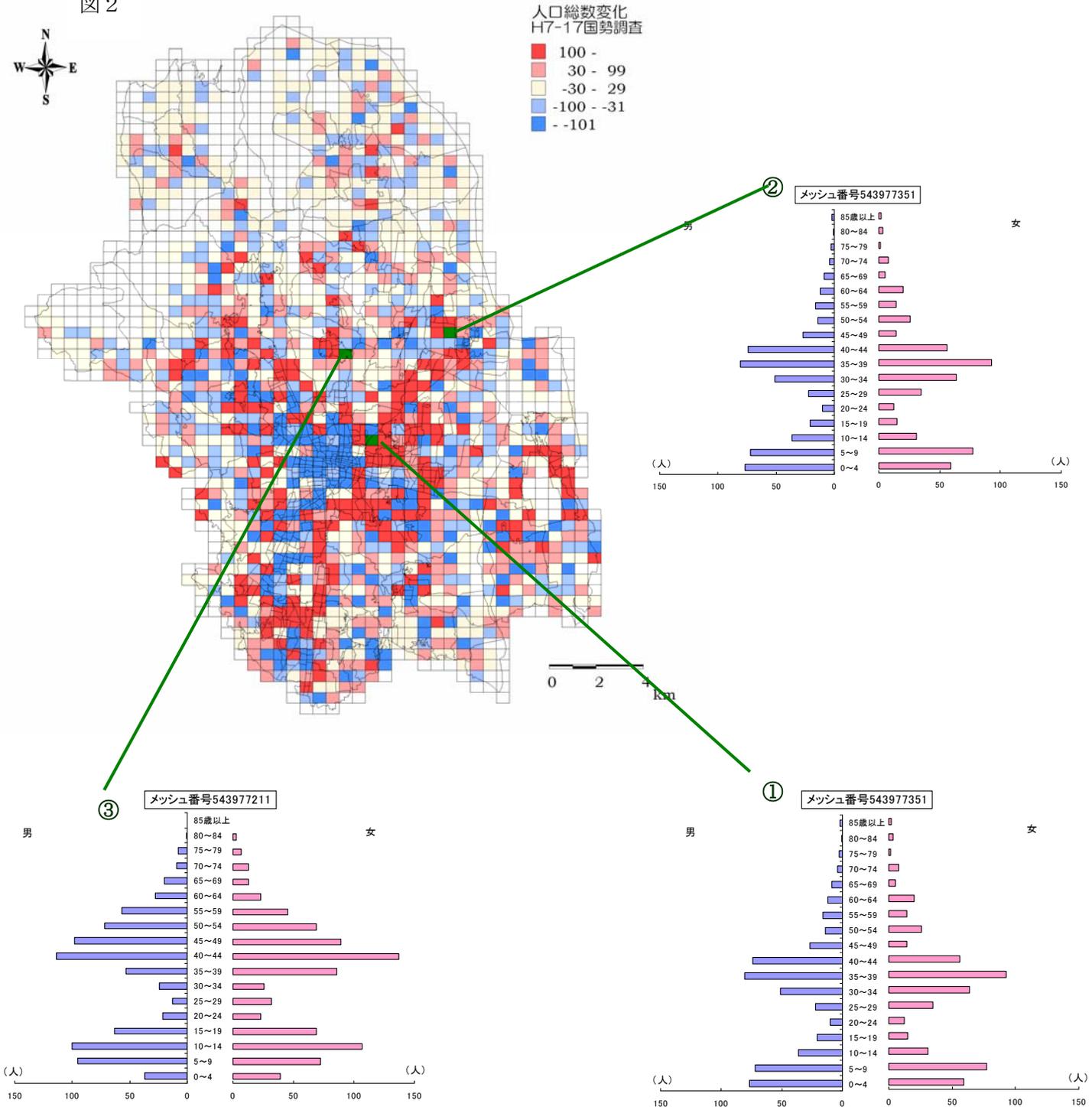
表9

産業分類別従業者数 (平成7～17年で人口が最も増加したメッシュ区画の上位3位)												
順位	就業者	第1次産業	第2次産業	建設業	製造業	第3次産業	情報通信業	卸売・小売業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	サービス業(他に分類されないもの)
①	894	x	248	49	199	630	30	187	58	70	40	142
②	461	x	143	38	105	318	x	56	11	37	33	120
③	702	x	136	24	112	551	9	102	22	62	82	201

表 10

平成7～17年で人口が最も増加したメッシュ区画の上位3位									
順位	メッシュコード	区画のおおよその位置	人口		人口増加数	平成17年世帯数		平成7年世帯数	
			H17	H7			うち共同住宅世帯数	世帯数	うち共同住宅世帯数
①	543967821	今泉町(陽北中東南, 東図書館西側付近)	1,767	812	955	746	522	307	136
②	543977351	中岡本町(奈坪ニュータウン付近)	1,068	187	881	319	48	48	0
③	543977211	豊郷台2丁目(帝京大東側付近)	1,667	902	765	517	0	259	0

図 2



一方、平成7年から17年にかけて人口が減少した区域をみると、最も減少した①「西2, 3丁目付近」や3位の③「一条2丁目, 旭2丁目付近」は人口2,000人以上の区域であり、前述した人口が最も増加した上位3位より多い。また世帯数は上回っている。

年齢別でも、比較的高齢者が多い区域である。

2位の②「大和2丁目, 江曾島本町付近」では、1人世帯が50%以上を占めており、1, 3位に比べて特に20~29歳の1人世帯が多く、公営・都市機構・公社の借家も多い。また、産業分類別従業者をみると、製造業が多い。

表 11

世帯人員別世帯数割合 (平成7~17年で人口が最も減少したメッシュ区画の上位3位)(%)									
順位	世帯総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	施設等
①	100	35.7	29.7	17.2	10.7	3.4	1.3	0.6	1.4
②	100	51.7	19.5	13.2	10.1	3.5	1.3	0.1	0.7
③	100	36.6	27.7	15.3	11.2	5.5	2.6	0.7	0.3

表 12

家族類型別一般世帯数 (平成7~17年で人口が最も減少したメッシュ区画の上位3位)							
順位	親族世帯	核家族世帯	その他の親族	6歳未満の親族がいる一般世帯	65歳以上の親族がいる一般世帯	世帯主の年齢が20~29歳の1人世帯	高齢単身世帯
①	440	372	68	50	292	44	86
②	340	293	47	46	198	140	78
③	430	326	104	39	313	42	81

表 13

住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯 (平成7~17年で人口が最も減少したメッシュ区画の上位3位)						
順位	住宅に住む一般世帯	持ち家	公営・都市機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り
①	689	373	10	257	46	x
②	564	176	202	138	40	8
③	679	458	0	188	26	7

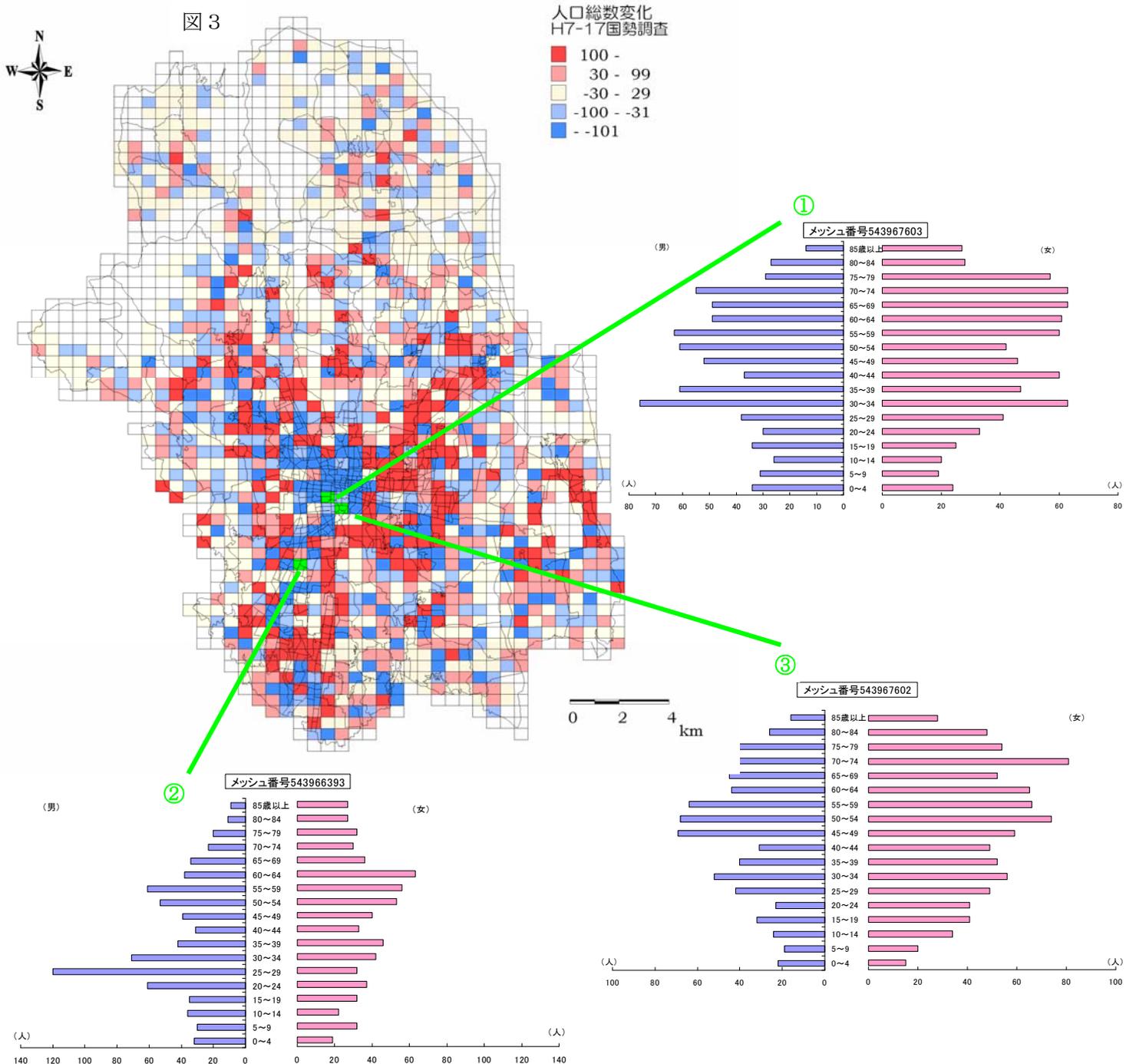
表 14

産業分類別従業者数 (平成7~17年で人口が最も減少したメッシュ区画の上位3位)												
順位	就業者	第1次産業	第2次産業	建設業	製造業	第3次産業	うち情報通信業	うち卸売・小売業	うち飲食店・宿泊業	うち医療・福祉	うち教育、学習支援業	うちサービス業(他に分類されないもの)
①	739	x	97	40	57	623	16	192	66	62	43	130
②	702	x	248	33	215	442	17	107	38	57	17	121
③	732	0	136	52	84	580	20	180	47	53	35	148

表 15

平成7～17年で人口が最も減少したメッシュ区画の上位3位									
順位	メッシュコード	区画のおおよその位置	人口			平成17年世帯数		平成12年世帯数	
			H17	H7	人口増加数	うち共同住宅世帯数	うち共同住宅世帯数		
①	543967603	西2～3丁目付近(東京街道沿い, 東武百貨店南西側, 一条中学校北西側)	1,555	2,007	-452	708	333	807	331
②	543966393	大和2丁目, 江曾島本町付近(県営大和住宅, 富士重工雄飛寮, アビタ宇都宮店, 陽南小学校南側)	1,410	1,849	-439	714	344	975	370
③	543967602	一条2丁目, 旭2丁目, 御蔵町付近(市役所・城址公園南側, 上下水道局周辺)	1,601	2,039	-438	686	255	830	321

図 3



### 3. 老年人口

郊外部が高い老年人口比率

平成 17 年の年齢別人口のうち老年人口（65 歳以上）の比率をみると、30%を超えている区画は、主に上河内、河内、篠井、国本、城山、瑞穂野など、郊外部で高い傾向にある。

平成 7 年からの変化率をみると、人口の多い区域の周辺や幹線道路沿いが増加しており、郊外の農村部での減少が目立つ。

図 4

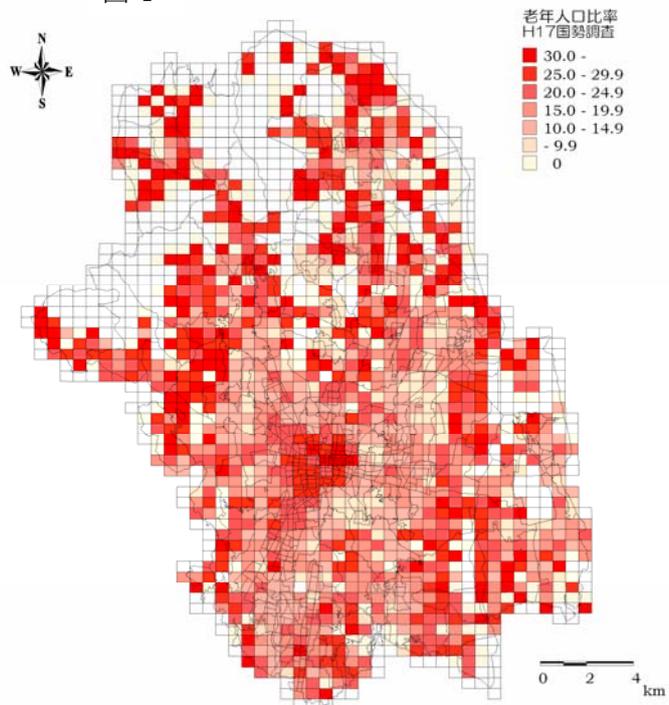
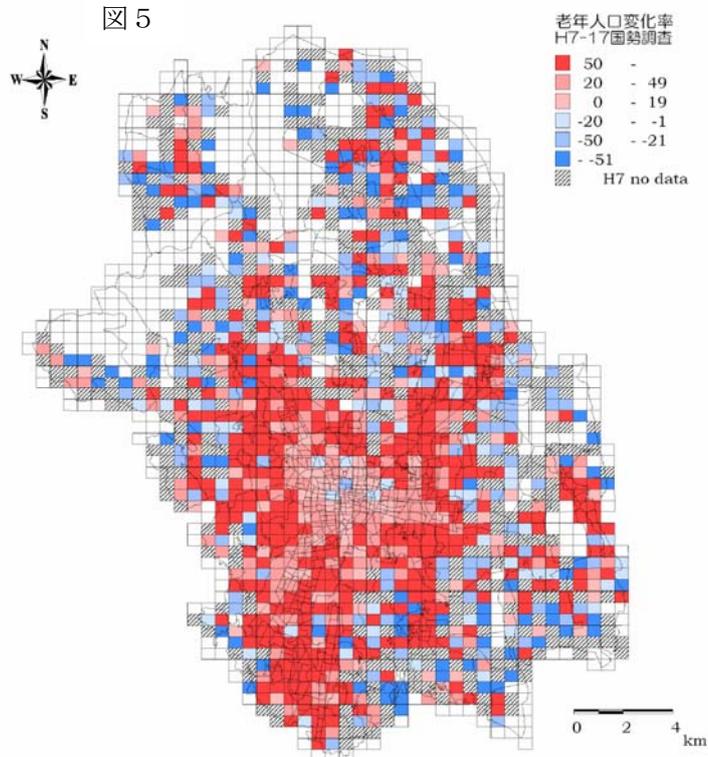


図 5



#### 4. 産業別就業者

卸・小売業，製造業就業者が多い

宇都宮市に常住する平成 17 年の産業大分類別就業者をみると，地域メッシュ 1 区画あたりの就業者数で最も多いのは公務（他に分類されないもの）であるが，就業者最多区画数は 5 区画と少ない。次に多いのは，製造業，サービス業（他に分類されないもの），卸売・小売業，医療・福祉と続く。

製造業，卸売・小売業は就業者最多区画数も多く，あわせて全体の 50%を超えている。

製造業就業者の地域メッシュをみてみると，平出工業団地から横川，瑞穂野工業団地までの新旧国道 4 号線一帯や陽南地区から雀宮地区，清原台付近が多い。

卸売・小売業は都心部から宇都宮環状道路付近が多い。

図 6

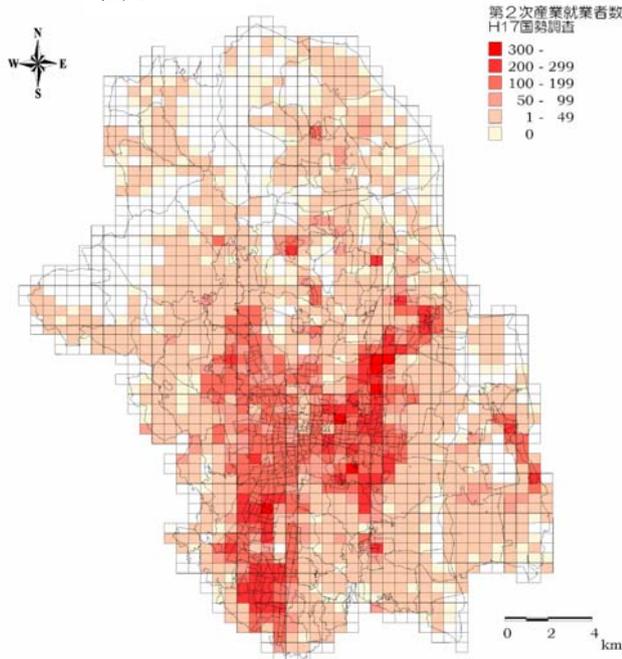
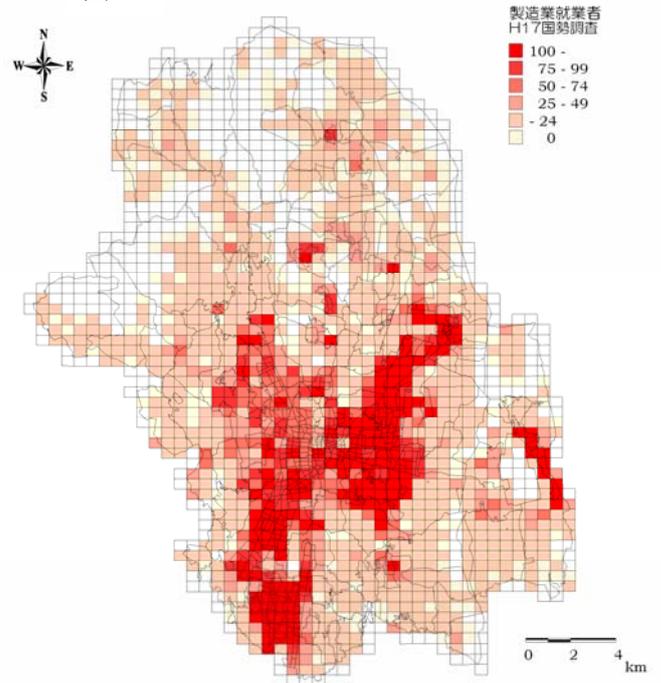


図 7



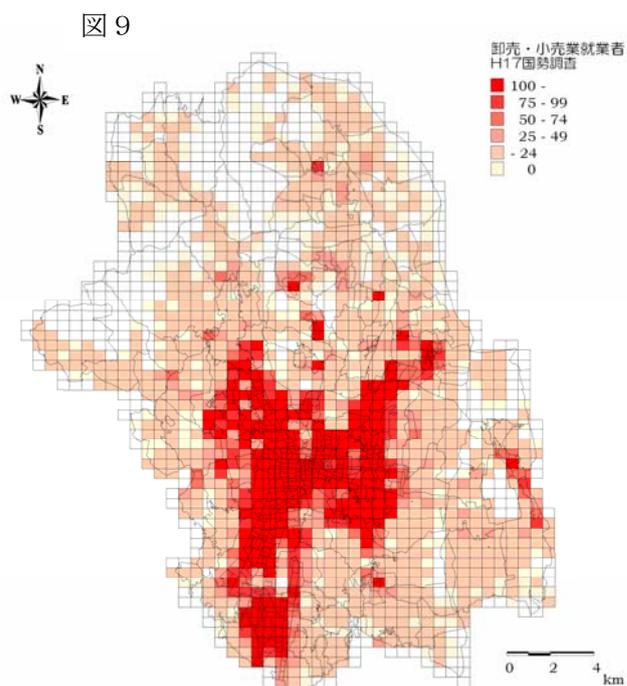
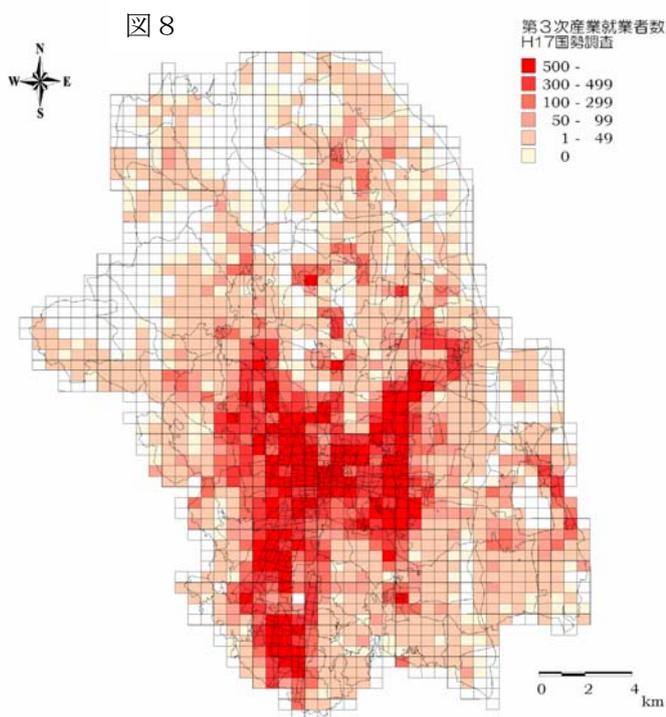


表 16

産業大分類	メッシュ1区画あたり最大就業者数	就業者最多区画数
農業	35	306
林業	0	0
漁業	0	0
鉱業	5	5
建設業	12	53
製造業	312	382
電気・ガス・熱供給・水道業	7	2
情報通信業	0	0
運輸業	5	2
卸売・小売業	276	326
金融・保険業	0	0
不動産業	0	0
飲食店、宿泊業	0	0
医療、福祉	134	8
教育、学習支援業	36	4
複合サービス事業	0	0
サービス業(他に分類されないもの)	307	167
公務(他に分類されないもの)	445	5
合計		1,260

## 5. 住宅の建て方別一般世帯数

郊外農村部は一戸建てに住む比率が高い  
共同住宅は都心部に集中

平成 17 年の住宅の建て方別一般世帯数の比率をみると、一戸建て世帯比率 80%以上の区域は、主に郊外の農村部に広がっている。

逆に共同住宅世帯比率では、都心部から宇都宮環状道路周辺に集中している。

